

Q1 在宅医療を行う上で課題と感じていること

在宅医療を受ける側(患者・家族)				
A 介護力			2	
	うち、	1 老々介護・認認介護	2	
		2 家族への負担		
		3 放任		
		4 在宅医療への理解不足		
		5 その他		
B 独居			2	
	うち、	1 後見人		
		2 急変時等の対応		
		3 ヘルパー等の介入不足		
		4 事務手続き		
		5 見守り		
		6 医療以外の関与の必要性	1	・訪問看護が入っていないと在宅医療は困難
		7 その他		
C 経済的問題		1		
D その他		1	・交通手段がない	

Q1 在宅医療を行う上で課題と感じていること

在宅医療を提供する側			
E 24時間／緊急時対応	うち、	1 一人医師	
		2 夜間・休日	
		3 外来診療とのかけもち	
		4 年齢・体力	
	F 参入への壁		
うち、	1 初期費用		
	2 器具／消耗品等の購入		
	3 診療報酬		
G 提供する医療			
うち、	1 患者数の増加		
	2 患者ニーズへの対応・高まり		
	3 治療内容・検査の限界	1	
H 診療科間の連携		1	
うち、	1 機能強化型		
	2 他科		
	3 リハ		
	4 情報共有		
I 入院医療機関との連携			
うち、	1 在宅移行		
	2 急変時・病状変化時の受入れ	2	
	3 レスパイト入院		
	4 退院時の連携		
	5 看取り		
	6 その他		

Q1 在宅医療を行う上で課題と感じていること

在宅医療を提供する側(続き)		
J 介護事業者との連携 うち、	1 訪問看護ST	
	2 ケアマネ	
	3 その他	
	K その他	1 ・訪問診療を行う医師の不足
制度的な問題		
L 施設等の不足		
M 駐禁		
N その他		
その他	1 ・おくすり手帳の記載方法が薬局ごとにばらばらで煩雑	

患者の受入れ		
A 受入れを望む患者像・状態		
1 急変時		2・夜間の受入れ
2 独居		
3 複数疾患を抱えている患者		
4 認知症		
5 精神疾患		
6 短期入院		
7 検査入院		
8 レスパイト		
9 状態悪化等で在宅医療が継続困難な場合(長期療養)		
10 看取り		
11 感染症		
B 受入れ手続き		
C 入院受入れ・医療機関の情報		1・スムーズな受入れ
在宅医と病院の連携		
A 在宅移行支援		
B 地域連携の推進		
C 逆紹介の希望		
在宅医療への理解		1
その他入院医療に求めること		

Q3 行政(区市町村・都)に対して望むこと

在宅患者の療養生活を支える関係者への支援・働きかけ		
A 医療と介護の連携		
B 24時間安心して療養できる体制の構築	1	・地域のネットワーク作り
C 人材の確保・育成		
D その他		
患者・家族に対する支援・働きかけ		
A 高齢者(独居や認知症など)へのサポート	1	
B 経済的負担に対する支援		
C 普及啓発		
1 制度・サービス		
2 在宅医療について		
3 かかりつけ医		
D 小児在宅(のコーディネーター)		
E 相談窓口		
行政自身に望むこと		
A 適切な介護認定		
B 高齢者施設の確保	1	・特養への入居のハードルを下げたい
C 在宅医療への移行を適切に推進		
D その他		
その他		